



医療法人社団二山会 広報誌 第78号



医療法人社団
二山会

ハートフル

Heartful 通信

理念

Heartful Hospital

心のかよった医療

基本方針

1. わたくしたちは、患者のみなさまの立場になって考えます。
2. わたくしたちは、患者のみなさまが社会復帰できるよう努力します。
3. わたくしたちは、地域に開かれ、信頼され、必要とされるあたたかい施設をめざします。



宗近納涼祭



9月17日に宗近納涼祭を行いました！！

今年は屋外での開催を予定しておりましたが、あいにくのお天気となり、
室内で時間帯を分けての開催となりました☔

模擬店は、焼きそば・たこ焼き・フランクフルト・かき氷・ジュース・
ヨーヨー釣り・くじ引き・輪投げ・デイケアほのぼのによるバザーと盛りだくさんの内容で
参加の皆様、とびきりの笑顔でお食事やゲームを楽しんでおられました♪



ステージ発表では、カラオケ大会とスイカ早食い大会、
OTスタッフが太鼓とソーラン節を披露しました。

カラオケ大会では患者様・利用者様の歌や踊りで会場が一気に盛り上がり、
スイカの早食い対決では、看護部長や病棟師長が本気でスイカを食べる姿に、
大爆笑される方も居れば、一生懸命な姿に声援をおくる方もおられ、
会場全体がとても温かな雰囲気につつまれました♪

ソーラン節では、OTスタッフがこの日の為に練習を重ねてきており、
終了後、皆様から「よかったよ～♪」と声をかけていただけ
OT一同、ホッと一安心しております。



室内ではありましたが、皆様にお祭りの雰囲気を感じていただける
楽しいひと時になったのではないかなと思います♪



広島中央認知症疾患医療センター 活動報告

当院は平成 25 年 2 月に広島県から『広島中央認知症疾患医療センター』の指定を受け、地域の関係機関と連携しながら、認知症に関する鑑別診断や専門医療相談を行うとともに、研修などの情報発信を行っています。

8 月 4 日（金）に県、県内の各認知症疾患医療センターのご担当の方々が集まる広島県認知症医療連携全体協議会がありました。今回は、若年性認知症サポートルームの担当者より情報提供がありました。サポートルームの主な役割としては、相談支援、自立支援ネットワーク作り、普及・啓発があり、ご本人やご家族、支援者、企業など様々な方からの相談を受けているとのことでした。制度やサービスの紹介、手続き等必要に応じて適切な支援に繋ぎ、ご本人の同意があれば受診にも同行できるとお話がありました。若年性認知症と診断されたご本人、ご家族は仕事をしておられることも多く、金銭面やこれから先の生活がどうなるのか様々な不安を抱えることとなります。その不安を少しでも軽減できるよう、関係機関と連携を図りながら対応していきたいと思えます。

8 月 22 日（火）には、志和地区民生委員児童委員協議会の方からのご依頼で、宗近病院のサロンデュあおぞらにて勉強会を開催しました。訪問時の声のかけ方や受診の促し方等、認知症の方とのかかわりについて事例を用いて講義を行いました。事例を見て考えられることを参加者の皆様に一言ずつ発表していただき、1 つの事例でも多くの意見や考えがあり、一緒に悩める仲間がいることを、私たちも含め皆で共有することが出来ました。また、講義後には、当センター・初期集中支援チームの紹介を行い、外来の様子も見学していただき、とても有意義な時間になりました。

今後とも地域の皆さまのお役に立てますよう、より一層、認知症医療に関わる皆様との連携強化に努めていきたいと思えますので、ご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

スタッフリレーコラム 二山会のスタッフがリレー方式でつなぐミニコーナーです！ 日頃の何気ないことなど、つぶやいていきたいと思えます！

フェアトレードって素敵

私はカフェや雑貨屋巡りをする事が大好きで、先日も月に 3 日間だけ開かれる、「イトバナシ」という雑貨屋に行ってきました。古民家を改装した、昔ながらのむき出しになった梁と土間のある家屋の作りで、おばあちゃんの家泊まった時の事を思い出させてくれ、懐かしい気持ちになるお店でした。中に入ると、アジア圏で手作業にて作られた刺繍のストールやガラス細工、チベットに住むヤクの毛で編まれたソックスなどが販売されていました。彩鮮やかな小物が目を惹き見ていてワクワクします。素敵なアイテムも魅力的ですが、私が「イトバナシ」惹かれる 1 番の理由は、“良い物＝良い作品”にはその作品に見合った対価を支払い、作った人達の生活が成り立つようにと、フェアトレードの考えをモットーに活動されているところです。「イトバナシ」を知るまでは、知らなかった考え方や見方が出来るようになり、お手入れをしながら大切に長く使う気持ちや、同じアジアに住む人たちにも関心を向けるきっかけにもなりました。



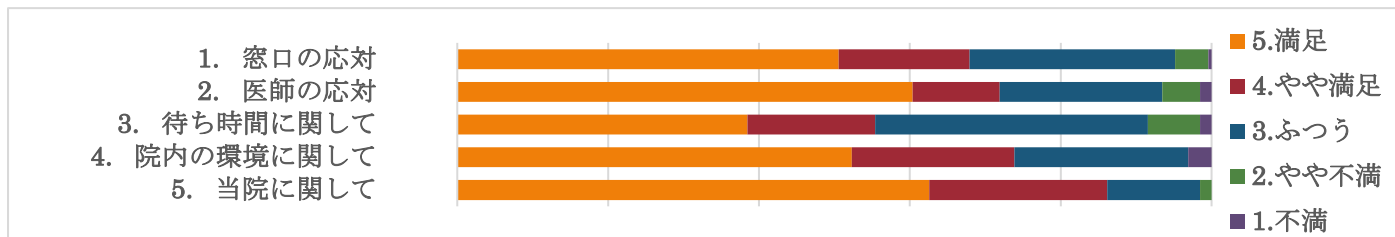
フェアトレードの考え方がもっと身近なものになり、購入できるアイテムや場所が増えることで、多くの人に知ってもらい、もっと自分にも出来る事が増えたら嬉しいな、と思っています◎

外来満足度アンケート調査について

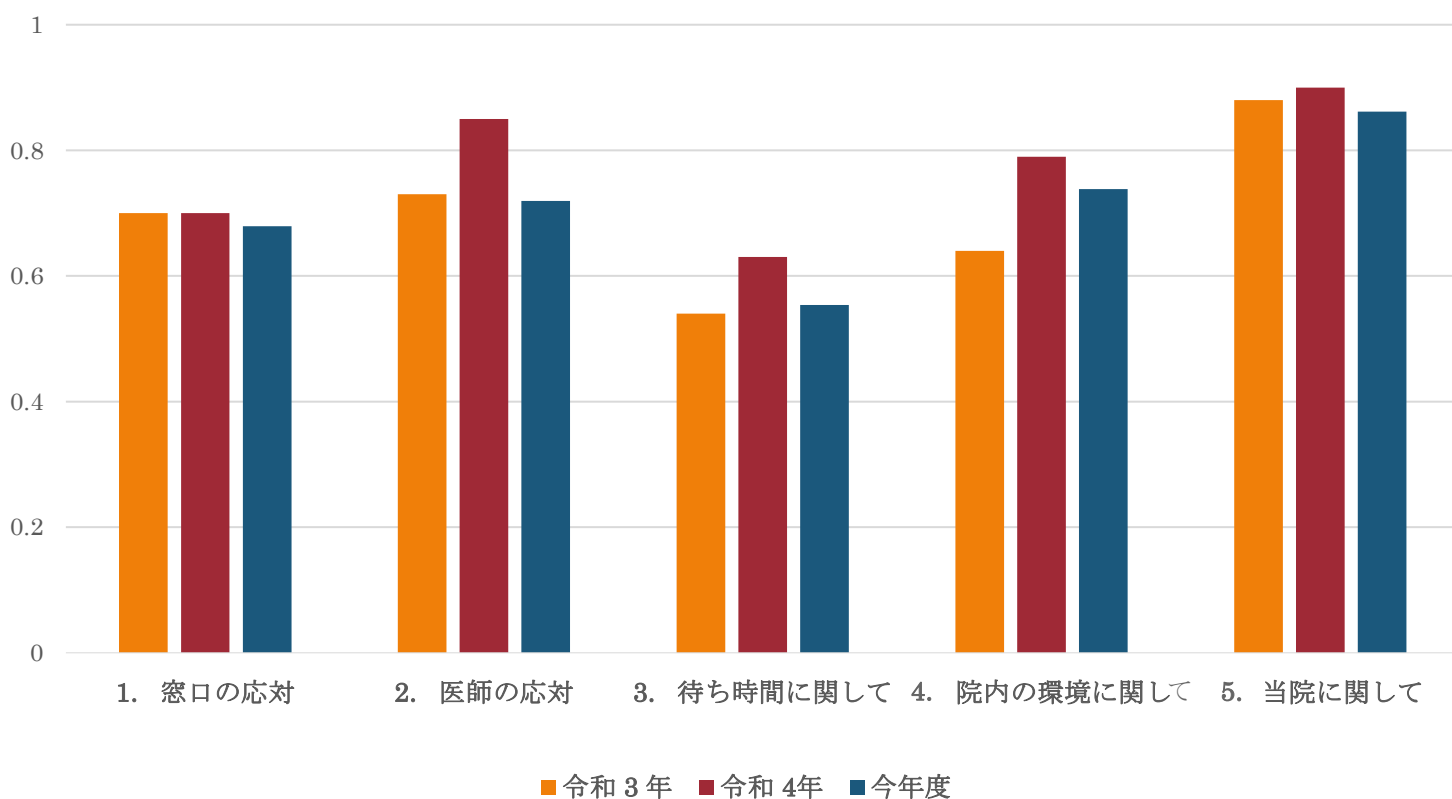
(主要項目を抜粋した内容です。)

○実施期間 令和5年7月18日～8月7日(2週間)

○対象者外来患者様 65名



満足度の比較



～調査を終えて～

ほとんどの項目で4・5(やや満足～満足)の評価を頂けた事に安堵と共に感謝しています。ありがとうございます。

ただ、『3.待ち時間に関して』については、前回より評価が下がっています。前年度よりご要望頂いている、予約制については、全医師とはいきませんが一部の医師で導入を試みたり、担当曜日以外での診察のご要望についても医師と調整し対応しています。なお、今回は診察後から精算までの待ち時間への満足度が前回より低下している為、外来と事務所の連携等、相談し調整してきたいと思えます。

利用年数や年齢層が年々上がっている事から、それぞれの利用者様及びご家族に合わせた対応が必要になってくると思えます。笑顔、丁寧な対応を徹底し、来院された方お一人ひとりにご満足していただけますよう、今後も改善向上に努めて参ります。



栄養管理室便り～秋の旬を楽しもう～

今回は今が旬のさつまいもについて紹介します。

★さつまいもを選ぶ時のポイント

- ・皮の色味や表面がきれいなもの・・・皮の色が良いものが健康に育っています。また、乾燥が進みすぎると表面がシワシワになってしまう為ハリとツヤがあるものを選びましょう。
- ・太くて重量感があり、ひげ根が少ないもの・・・細いものやひげ根の多いものは、繊維が多く、筋っぽいさつまいもであることが多いようです。

★さつまいもの栄養

さつまいもの栄養の最大の特徴は豊富な食物繊維です。さらに“ヤラピン”という成分が排泄を助け、便秘を防いでくれます。ビタミンCもみかんに匹敵するほど豊富で、加熱しても壊れにくい形で含まれています。

★さつまいものレシピ：さつまいもサラダ（2人分）

今回は宗近病院でも大人気のメニューさつまいもサラダのレシピを紹介します！

- 【材料】・さつまいも…1/2本 ・きゅうり…1/3本 ・人参…1/4本 ・ロースハム…1枚
- ・(A) マヨネーズ…大さじ2
 - ・(A) 酢…小さじ1
 - ・(A) 砂糖…小さじ1/4
 - ・(A) 塩コショウ…少々

- ① さつまいもをいちょう切りにして水にさらし、柔らかくなるまで茹でる。
- ② 人参も同じく薄めのいちょう切りにして、柔らかくなるまで茹でる。
- ③ きゅうりは輪切り、ロースハムは短冊切りにする。
- ④ ボールに(A)を入れ、よく混ぜ合わせ③を入れる。
- ⑤ 粗熱を取った①②をボールに入れしっかりと和える。



【外来診療案内】

診療時間 8:45～12:00 13:00～16:00 日・祝休診

初診受付 8:30～11:00 12:45～14:30

再診受付 8:45～11:30 12:45～15:30

※初めての診察をご希望の方は、まずはご相談ください。木曜日は再診のみです。

お問合せは、お気軽に 宗近病院代表電話 (082) 423-2726 まで！

広島中央認知症疾患医療センター 月・火・水・金・土 午前 予約制

直通電話 (082) 493-8651 にて、予約を承ります。

広報誌に掲載の写真は全てご本人の了承を得ております。

<発行者> 医療法人社団 二山会

<編集> 広報委員会

〒739-0024 東広島市西条町御薗宇 703

Tel:(082)423-2726 Fax:(082)424-2999

<Eメール> youyou@youyou.or.jp

<ホームページ> <http://www.youyou.or.jp>

<発行日> 2023年10月



編集後記

当法人のホームページはこちらの二次元コードからご覧いただけます。

コロナが5類になってから5ヶ月。ようやく有事から平時の状態に移ったわけで、病院内では依然として患者さんの健康を守るべく感染対策でマスク生活が続いていますが、世の中ではマスク着用率がかなり下がり、コロナ前の状態に戻りつつあります。

一方で、コロナ禍ではほとんど発生しなかったインフルエンザが、季節を外れて流行し、今も感染が続いているコロナとの同時流行も起きています。

幸い、最近ではコロナ感染による重篤化は少なく、まだ一回もかかっていない人もいる中、二回感染した人も出るなど、普通の風邪のような雰囲気になっっているようで、少し安心していきます。ただ、ウイルス自体は変異するかもしれないが、なくなることはないそうです。ウィズコロナ、ウィズウイルスで負けずに一緒に生きていければよいと思います。一人ひとりが抵抗力をつけて、4年振りにマスクのないクリスマス、お正月を楽しみたいものです。

(M・H)